



令和6年12月19日  
浦和明の星幼稚園  
園長 栗田 亨

子どもたちの「やってみたい」が実現したクリスマス会の後、約束通り数多くのご家庭でお子様の頑張りを思いっきり褒めていただきました。誠に有難うございます。お子様にとって、親御さんの誉め言葉が何よりのご褒美だと思います。

先週の金曜日、涙が溢れるばかりの嬉しいことがありました。年長のおとなしい女の子です。年少の時から朝のご挨拶をしようとあの手この手で頑張ってきましたが、お家や通園途中の練習ではできて、いざ園長の前となると声が出ませんでした。クリスマス会の大舞台を踏んで自信がついたのでしょうか、この朝しっかりと口調で「お早うございます」と応えるではありませんか。そばに居た教頭もお母さんも「声が出た」と大喜びでした。まだあります。年中の男の子です。一緒に登園するお母さんが明るく励ましますが、もじもじしてしまいます。ある日、お父さんと登園しました。するとどうでしょう。元気な声で「お早うございます」と言葉が出ました。お父さんは、励ますのが上手なのだそうです。まだあります。時々妹と一緒に登園する年中の女の子です。ある日突然、ニコニコの笑顔で「お早うございます」と返します。「お店屋さんでご挨拶できるのだから、園長先生にだって出来るよ」と励ましたそうです。お家の方の力がいかに大きいか痛感させられました。

13日、浦和東警察署員指導のもとに行った防犯訓練では、2つご指導いただきました。①不審者が来たら、遊びを止めて先生の指示を聞いて行動する。②近付かれたら「助けて」と大きな声を出す。それを受けて、16日のお誕生日会では、実際に大きな声で「助けて」と叫んでみました。挨拶と同様に分かっているだけではなく、実際にできるようにすることが大切だということを学びました。今のところ「お早うございます」の声が出ない人も、幼稚園でお友達や先生といっぱい遊び、嬉しい時には思いっきり笑い、悲しい時は思いっきり泣き、お家の人にいっぱい褒めていただければ、きっと声に出せる日が来るとお話ししました。

本日の終業式では、運動会やクリスマス会などの大きな行事で、どのように「やってみたい」をできるようにしてきたか、2学期を振り返りました。そして、毎日元気に幼稚園に通った皆さんには、きっとサンタさんが願いを叶えてくださることを伝えました。でも、今世界では戦争をしていたり、食べるものが無かったりして楽しいクリスマスを迎えられない人がたくさんいること。そういう人たちのために、何が出来るか、献金、世界を知ること、感謝の気持ちを表すことから考えました。私たちの献金は、実際に恵まれない人に送り届けられています。次の知ることも大事です。さらに大切なのは、知った上でそれを表現することどれも大事だと結論付けました。楽しいクリスマスや冬休みを迎えられることを、神様に、サンタさんに、そしてお家の人に感謝し、その気持ちを伝えましょうとお話ししました。さらに、お正月はいろいろな人に会うでしょうから、あ・い・さ・つ・め「明るく」「いつも」「先に」「伝わるように」「目を見て」。特に、自分の気持ちが、相手に伝わる大きさの声や表情でご挨拶しましょうと結びました。ご家庭でも是非意識してご挨拶してみてください。

本年も、園へのご理解・ご協力を賜り、誠に有難うございました。クリスマスにお正月、せわしい年の瀬ですが、ご家族で平安な、よいお年をお迎えください。